

高齢者、高校生、特別支援学校生徒による ボッチャフェスタ

教育課程上の位置付 部活動(スポーツ部)

実施概要

今回の社会貢献活動は、初めて悠々会の高齢者及び隣接する都立野津田高等学校の生徒を当校に迎えて、高等部のスポーツ部の生徒による「ボッチャ」を通じた交流を行いました。会場は当校の体育館を使用しました。高齢者、高校生、当校生徒からなる混成チームを組んで、協力しながらゲームを行った結果、相互理解が大いに深まった活動になりました。

- 活動参加者** 当校 生徒…11人 担当教員…9人
- 内訳** 交流先 利用者…13人 高校生…10人
- 交通手段** 当校と悠々会との距離はおおよそ5.3km
施設の車で来校 約15分



最後の一投に祈りを込めて

活動報告 実施日：9月16日(土)

スポーツ部の生徒による開会の言葉、各参加団体代表者挨拶の後、準備運動を行い、ボッチャによる交流がスタートしました。各団体から1~2名ずつ集めて6チーム(1チーム5人)を作り、それぞれのチームで自己紹介をした後、対抗戦を行いました。スポーツ部の生徒が審判を務め、ルールの説明を加えながら、スムーズな進行に努めていました。

ゲームは、チームで互いにコミュニケーションを取りながら戦略を練ったり、教え合ったりして、和気あいあいの中で進めました。今回の活動では、お互いをより深く理解してもらうために、チームを各団体からの混成チームにしました。同じチームの仲間として利用者や高校生も一緒になってゲームに挑み、ボッチャという競技の魅力にもふれることができました。

上手にジャックボールに近付けることができるとチーム内でハイタッチをして互いに励まし合ったり、失敗した時には慰めたりして、思いやりの精神も深めているようでした。

対抗戦終了後、スポーツ部の生徒と利用者、高校生の経験者によるエキシビジョンマッチを行い、会場を盛り上げていました。終了時には、互いに打ち解けて心の交流も大いに進んだようでした。

当日のスケジュール

- 8:30 学校、施設・団体、参加校、SSC、都教委5者事前打合せ(校長室)
- 9:15 参加者集合
- 9:30 開会セレモニー開始・準備運動
- 10:00 ボッチャゲーム開始(3団体の混合チームによるゲームを実施)
- 10:35 休憩(交流・歓談)
- 10:45 第2試合
- 11:10 ゲーム終了
選抜エキシビジョンマッチ(3団体観戦交流)
- 11:40 閉会セレモニー開始
- 11:55 閉会セレモニー終了
- 12:00 解散

■活動のために準備したもの

〈教員〉ボッチャ用品、ゼッケン、本校生徒の自助具・支援機器、開閉会式シナリオ、式次第
〈生徒〉看板、審判グッズ

■工夫したところ

- 本校生徒・野津田高校生徒で実行委員会を組織し、司会・進行の役割を任せました。事前に顔合わせ、打合せも行いました。
- チームは本校生徒、野津田高校生徒、高齢者施設の利用者の方の混合チームで構成し、交流を深めることができましたようにしました。
- ボッチャの得意な生徒たちは選手としてではなく、審判として参加し、各チームに助言をする役を務めました。

■実施にあたって注意したところ

ただ「ボッチャを楽しむ」のではなく、「ボッチャを通して交流を深めること」「参加者がそれぞれが役割をもって達成感を得られること」といった目的を明確にして支援にあたりました。

■良かったと思うところ

- 誰でも楽しめるボッチャを通じたことで、各チーム内で自然で深い交流が図ることができました。
- 両校の実行委員は、事前に打合せするなどして特に交流を深めることができました。またイベントが盛大に終わったことで「おもてなし」の意味でも達成感があったようでした。

■今後に向けての学校からの抱負

同世代、地域の方との交流や、役割をもって「おもてなし」をする経験は生徒達のキャリア発達においても重要だと考えます。次年度に向けてより良い在り方を探っていきます。

当校は、昭和48年開校の肢体不自由教育部門(小学部・中学部・高等部)、知的障害教育部門(小学部・中学部・高等部)を併置する特別支援学校です。小学部・中学部の児童・生徒は、居住地の小学校・中学校に「副籍」を置き、交流及び共同学習を行っています。社会貢献活動は、地域高齢者施設とのレクリエーション交流、飲み物提供による交流(訪問カフェ)、地域の清掃など積極的に行っています。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 野津田高校の生徒さんと仲良くできました。周りの人が優しく、特に悠々会の方がリードしてくれて楽しかったです。野津田高校の生徒さんと悠々会の方と協力してボッチャができてうれしかったです。
- 皆さんがそれぞれ楽しそうにボッチャをプレーしていました。もっと時間を長くしても良いと思います。来年も開催できればいいなと思います。

教員

ボッチャという誰もが参加できるスポーツをツールとすることで、参加者間で自然と会話は盛り上がり、心の垣根のない交流を図ることができました。また、生徒たちがお客様をおもてなしする、という社会貢献の目的も設定しました。その結果、生徒たちは参加者の笑顔を見て大きな達成感を感じたようです。地域の高齢者、そして同世代の高校生という幅広い参加者がいたからこそこの成果でした。

施設・団体の参加利用者・担当者の感想

利用者

- 生徒さんたち、みんな元気ですごいです。若い人のパワーを何よりのおみやげに持って帰りたいと思います。
- とても感動しました。みんなが一生懸命やっている、ということが良かったです。
- ボッチャフェスタに参加させていただいて、皆さんの笑顔と白熱したゲームに、ボッチャにはまりそうです。楽しくできましたことを感謝しております。

理事長

今回のボッチャフェスタは「共生社会」の第一歩としてとても価値のあるイベントであったと思います。障がいがある無しにかかわらず、お互いの立場を理解し合い支え合いながら真剣にゲームに参加する姿は感動的でした。悠々圏では「いくつになっても地域社会の中に役割を持つ」その方の社会性を支援の中でとても大切にしています。お元気な高齢の方は地域の子供を育てましょう、それこそが介護予防になります。こんな掛け声を地域の皆様と共有しています、今回のボッチャフェスタ参加で良いきっかけをいただくことができました。

■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 8月23日 当校にて校長、副校長、担当主幹と(コ)で第1回打合せ
当校より高齢者、高校生を迎えてのボッチャ交流の提案があり、(コ)も賛同
- 9月4日 当校にて副校長、担当主幹と(コ)で、参加協力高齢者施設、参加協力高校の確認と活動内容を確認
- 9月11日 当校担当者、団体担当者、野津田高校担当者と(コ)の4者で、プログラムの詳細の確認と最終調整を実施

交流先



社会福祉法人 悠々会

住所：東京都町田市能ヶ谷四丁目30番1号

- 施設概要
- 特別養護老人ホーム悠々園 定員80名
- 通所介護事業(デイサービス) 定員40名
- 短期入所施設(ショートステイ) 定員20名

- ①第一種社会福祉事業・特別養護老人ホームの経営
- ②第二種社会福祉事業・老人短期入所事業の経営・老人デイサービスセンターの経営・老人居宅介護等事業の経営・認知症対応型老人共同生活援助事業の経営
- ③公益を目的とする事業・居宅介護支援事業の経営・地域包括支援センターの経営・あんしん相談室の経営・訪問看護事業の経営・あんしんハウス事業の経営